

基本情報						
教科・科目		数学1	・授業で使用するもの 教科書(これからの数学1、体系数学1代数編)、体系問題集1代数編発展、ノート、筆記用具、プリント,iPad			
担当者		吉川・岩本・中村・若林				
評価割合(試験:試験外)		試験:6 試験外:4				
年間を通じて教科で培う力		鑑録(知識及び技能)	基本的な用語や記号の意味を理解できる。計算方法を理解し、正しく使える。比例反比例、1次関数のグラフを書くことができる。			
		理知(思考力・判断力・表現力等)	自分が考えたことを数学的に表現できる。証明の型を作ることができる。与えられた条件から立式出来たり、グラフの方程式を求めたりすることができる。			
		探究・観智(主体的に学習に取り組む態度)	個々の感じている課題に対して粘り強く最後まで取り組む姿勢がある。学んだことを他の事象に転用できる。			
学習情報						
月	回	単元名	単元目標(到達状態)	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
45	12	正の数と負の数 正の数と負の数 加法と減法 乗法と除法 四則の混じった計算 素因数分解 正の数・負の数の利用	数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。簡単な数の加法と減法、乗法と除法の計算ができる。四則が混じった式の計算ができる。 素因数分解の有用性に気づき、その仕組みを理解できる。 様々な問題を思考し答えを導くことができる。	・正の数と負の数をを用いた数について着目し、性質を考える。 ・数の大小関係を数直線不等号を扱って、正しい表現を学ぶ。 ・式の加減乗除とその仕組みを学ぶ。 ・四則の計算順番を学ぶ。 ・計算を使った多くの問題に挑戦する。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・確認テスト ・課題提出 ・レポート
5	8	式の計算 文字式	文字を使って、数量や数量の関係などを式に表し、文字の必要性和意味を理解できる。	・文字を使って、数量や計算法則を式にしたりして、文字の式の意味について理解する。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・確認テスト ・課題提出 ・プリント提出
6	定期試験① 令和8年 6月3日～6月5日					
67	20	式の計算 文字式の計算 式の計算 文字式の利用	文字を使った式の表し方を理解し、それに基づいて式に表したり、表された式の意味を読み取ったり、文字に値を代入して式の値を求めたりして、文字式の理解を深めることができる。	・単項式と多項式を扱った計算を学ぶ。 ・文字を扱って、問題に対して立式し、なぜその式になっているか理解する。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・確認テスト ・課題提出 ・レポート
7	定期試験② 令和8年 7月15日～7月17日					
9 10	18	方程式 方程式とその解 1次方程式の解き方 1次方程式の利用	様々な数量の関係を、等式を用いて解決することができる。 方程式とその解の意味を理解する。 等式の性質を理解するとともに、それを利用すれば方程式が解けることを理解できる。	・与えられた方程式を解く方法を学ぶ。 ・問題に対して方程式を立てることができ、なぜその式になっているか理解する。 ・方程式の多段階的な思考と、方程式を用いた問題の表現を論理的に学ぶ。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・確認テスト ・課題提出 ・プリント提出
10	定期試験③ 令和8年 10月21日～10月23日					
10 11	10	方程式 連立方程式 連立方程式の利用	二元一次方程式とその解の意味を理解することができる。 連立二元一次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解することができる。 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用することができる。	・与えられた連立方程式を解くことを学ぶ。 ・問題に対して連立方程式の立式と、なぜその式になっているか理解する。 ・連立方程式の多段階的な思考ができ、連立方程式を用いた問題の表現を論理的に学ぶ。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・確認テスト ・課題提出 ・レポート
11 12	11	1次関数 変化と関数 比例とそのグラフ 反比例とそのグラフ 比例、反比例の利用	事象の中にある数量やその関係を一般的に把握する見方や考え方を用いることができる。 目的に応じて式の計算をしたり、数量の関係を表したりすることができる。	・比例と反比例に対する基本的用語の基本的な知識・技能を学ぶ。 ・比例と反比例で表、式、グラフのそれぞれの関係について理解する。 ・与えられた問題に対して、どのように解決していけばよいか他者と議論をする。相手が納得してくれる解答を考え記述する。	・講義 ・演習 ・グループワークの発表	・確認テスト ・課題提出 ・プリント提出
12	定期試験④ 令和8年 12月9日～12月11日					
1 2 3	26	1次関数 1次関数とそのグラフ 1次関数と方程式	式やグラフと関連付けながら変化や対応の特徴や、具体的事象を関数としてとらえ考察し、表現することができる。 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解することができる。 二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明することができる。	・比例と反比例で表、式、グラフのそれぞれの関係について理解する。 ・与えられた問題に対して、どのように解決していけばよいか他者と議論をする。相手が納得してくれる解答を考え記述する。 ・関数関係を見出し表現する方法を学ぶ。	・講義 ・演習 ・グループワーク	・確認テスト ・課題提出 ・レポート
3	定期試験⑤ 令和9年 3月4日～3月6日					